

(4) 基本目標 4

住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり

集

【音】 シュウ

【訓】 あつまる、つどう

【選定理由】

施設を集約し町をコンパクトにまとめていく。
また、人やものが集まり、にぎわいを取り戻す。

- 交通の利便性やコンパクトシティである強みをさらに高めるため、中長期的な視点を持ちながら、まちなかに人が集まりやすい環境を整え、にぎわいを再生します。
- ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備を進め、年齢や障がいにかかわらず、誰もが住みやすく、人が集まる基盤をつくれます。
- 老朽化の進んだ施設や設備については、有効に活用することに努める一方、適切に更新や集約を行い、より管理しやすい体制にしていきます。
- 身近なところで自然やうるおいを感じられる空間や景観を増やすほか、子ども達が安心して自由に集まれる環境をつくれます。

4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり

4-1 道路網の整備

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
3	16	1,205,335	245,445	513,850	446,040

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
都市計画区域内町道の舗装化率	H26	95.98%	96.0%	96.3%	96.6%

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)国道・道道の整備	201～202
(2)町道の整備	203～206
(3)国道、道道、町道等道路網の整備、促進	207

4 - 1 道路網の整備

(1)国道・道道の整備

事業名		事業概要	
事業No.	324	北海道横断道路北見・網走間の建設促進を北海道横断道北見・網走間建設促進期成会を通じて要望。 現在、美幌町高野から北見市端野まで調査が入っている。	
高規格幹線整備促進事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	期成会道路要望北海道・中央（夏季） 期成会道路要望北海道・中央（秋季） 随時要望国会議員外（用地等）	期成会道路要望北海道・中央（夏季） 期成会道路要望北海道・中央（秋季） 随時要望国会議員外（用地等）	期成会道路要望北海道・中央（夏季） 期成会道路要望北海道・中央（秋季） 随時要望国会議員外（用地等）
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		325		道道嘉多山美幌線の一部道路用地が相続人の問題で用地買収できていないため事業協力し改良工事をスムーズに進める。
道道嘉多山美幌線改良整備促進事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	社会資本推進会議継続要望		社会資本推進会議継続要望	社会資本推進会議継続要望
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		326		
道道北見端野美幌線道路改良整備促進事業		道道北見端野美幌線（美幌・豊岡・瑞治）地区の道路改良要望を北海道（社会資本推進会議）に要望し、道事業により安全な交通・通行が図られるよう事業を進める。		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	社会資本整備推進会議継続要望（豊岡・瑞治地区）		社会資本整備推進会議継続要望（豊岡・瑞治地区）	社会資本整備推進会議継続要望（豊岡・瑞治地区）
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

4 - 1 道路網の整備

(1)国道・道道の整備

事業名		事業概要	
事業No.	327	住民要望を含めて国道（網走開発建設部）、道道（網走建設管理部）の維持管理上の要望について、国・道に随時要望する。	
国道・道道維持管理充実整備事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	国・道に随時要望	国・道に随時要望	国・道に随時要望
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-1 道路網の整備

(2) 町道の整備

事業名		事業概要	
事業No.	328	町道第770号道路は老朽化が著しく、大正橋も老朽化、幅員が狭いため冬期間大型車が交差しづらいなど危険なため、道路線形、橋梁拡幅、路線変更が求められており、道道（北見端野美幌線（新町国道道道交差点～瑞治美幌インター交差点）と振り替え交換を要望し、北海道に整備要望を行う。	
町道770号道路道昇格整備要望事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	社会資本整備推進会議要望	社会資本整備推進会議要望	社会資本整備推進会議要望
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.	329	町道管理のため、作成している道路台帳図等に町道の改良、舗装延長、認定路線の増加等を反映させるため、道路台帳図等を修正する。 (道路網図の修正、土工定規図の記入、道路台帳及び図面の修正、工事経緯表の作成等)		
道路台帳整備事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	道路台帳修正委託業務 道路網図修正委託業務 前年度に行われた町道、橋梁の改良、認定等変更分の修正		道路台帳修正委託業務 道路網図修正委託業務 前年度に行われた町道、橋梁の改良、認定等変更分の修正	道路台帳修正委託業務 道路網図修正委託業務 前年度に行われた町道、橋梁の改良、認定等変更分の修正
	2,805 千円		3,000 千円	3,000 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	8,805 千円

事業名		事業概要	
事業No.	330	道路機能維持のため、町道の補修を行う。	
道路橋梁整備事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	道路施設修繕（町内一円） 5,000千円 第119号側溝（管渠）修繕 4,800千円 第344号道路排水・歩道修繕 1,200千円 第584号雨水樹・歩道修繕 3,400千円 第24号道路舗装修繕 1,400千円 第29号道路排水修繕 1,900千円	道路施設修繕 30,000千円	道路施設修繕 30,000千円
	17,700 千円	30,000 千円	30,000 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	77,700 千円

4-1 道路網の整備

(2) 町道の整備

事業名		事業概要			
事業No.	331	老朽化した橋梁を橋梁長寿命化計画により補修を行う。 防災・安全交付金により橋梁長寿命化計画大正橋修繕事業を補助事業により行う。(国庫補助率6/10) 維持・補修を国庫補助により行い、コスト削減を図る。 橋梁の舗装・伸縮装置等の修繕等 町内の全橋梁の5年に1度の法定点検を2カ年に分けて補助事業により実施し、併せて長寿命化計画の見直しを図る。(109橋)			
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度		平成33年度
	東雲橋橋梁補修工事 7,700千円 (社会資本交付金60%・過疎債100%) 橋梁設計委託 1橋 7,500千円		東雲橋橋梁補修工事 95,300千円 橋梁設計委託 1橋 5,000千円		稲美橋橋梁補修工事 32,000千円 橋梁設計委託 1橋 5,000千円 橋梁点検委託 59橋 20,000千円
	15,200 千円		100,300 千円		57,000 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費		172,500 千円

事業名		事業概要			
事業No.	332	防災・安全交付金により舗装修繕事業・道路ストックを補助事業により行う。(国庫補助率6/10) 維持・補修を国庫補助により行い、コスト削減を図る。 舗装補修(補助事業)、道路ストック点検68.8km40路線(補助事業) 道路照明・大型標識・トンネル・擁壁・法面等の点検調査を行う。			
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度		平成33年度
	第9号道路舗装補修 L=112m 14,200千円 (社会資本交付金60%・過疎債100%) 標識点検 4,100千円 視線誘導標点検 3,900千円 (社会資本交付金60%)		第9号道路舗装補修 L=239m 35,500千円 (社会資本交付金60%・過疎債100%)		第9号道路舗装補修 L=407m 49,700千円 (社会資本交付金60%・過疎債100%)
	22,200 千円		35,500 千円		49,700 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費		107,400 千円

事業名		事業概要			
事業No.	333	幹線・地域道路網の新設及び改良工事の継続的实施により、交通の利便性の確保・向上を図る。 舗装整備後年数が経過し、傷みの激しい路線が多いことから、市街地における一部の未舗装カ所と併せて整備を行う。			
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度		平成33年度
	オーバーレイ 過疎債100% 249号(L=100m) 2,400千円 2号(L=550m) 16,000千円 舗装改良 過疎債100% 249号(L=120m) 14,200千円 503号(L=170m) 14,500千円 636号(L=170m) 20,700千円 532・533号(L=202m) 37,050千円		オーバーレイ 過疎債100% 116号(L=550m) 19,250千円 701号(L=200m) 8,400千円 332号(L=500m) 25,000千円 他 舗装改良 過疎債100% 503号(L=160m) 20,800千円 426号(L=180m) 49,700千円 532・534号(L=160m) 24,000千円 413号(L=110m) 26,500千円 701号(L=200m) 30,000千円 他		オーバーレイ 過疎債100% 352号(L=250m) 8,750千円 102号(L=120m) 4,200千円 250号(L=330m) 13,200千円 124号(L=260m) 9,100千円 214号(L=350m) 10,500千円 舗装改良 過疎債100% 532・533号(L=250m) 37,500千円 427号(L=160m) 44,200千円 107号(L=370m) 48,840千円
	104,850 千円		250,500 千円		176,290 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費		531,640 千円

4 - 1 道路網の整備

(2)町道の整備

事業名		事業概要		
事業No.	334	道路機能維持ため、歩道の補修、整備を行う。		
歩道整備事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	歩道改良整備 2号（学園通・L=100m）8,900千円 9号（幸通・L=202m）19,190千円 8号（東雲通・L=212m）15,100千円		歩道改良整備 9号（幸通・L=430m）40,850千円 8号（東雲通・L=190m）15,200千円	歩道改良整備 9号（幸通・L=770m）73,150千円 8号（東雲通・L=230m）18,400千円
	43,190 千円		56,050 千円	91,550 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	190,790 千円

事業名		事業概要		
事業No.		335		
街路景観再構築事業		都市計画街路の再構築の検討を行うとともに、街路樹の在り方など景観・緑化に向けた検討をすすめる。		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	街路樹の適切な維持管理 住民参加による植栽樹への花の植栽促進		街路樹の適切な維持管理 住民参加による植栽樹への花の植栽促進	街路樹の適切な維持管理 住民参加による植栽樹への花の植栽促進
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		美幌町の町道は五叉路など交差点が見つらく、交通安全上危険な箇所が存在するため、交差点の改良の検討やカーブミラーの変更設置などを検討し安全に通行できるように検討を図る。また国道・道道の交差点改良については随時国・道に要望していく。		
336				
交差点改良事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	危険交差点の継続調査検討 （町道東雲等・旧国道交差点、栄通・旧国道交差点等） 国・道へ事故危険箇所の継続改良要望 （田中交差点など）		危険交差点の継続調査検討 （町道東雲等・旧国道交差点、栄通・旧国道交差点等） 国・道へ事故危険箇所の継続改良要望 （田中交差点など）	危険交差点の継続調査検討 （町道東雲等・旧国道交差点、栄通・旧国道交差点等） 国・道へ事故危険箇所の継続改良要望 （田中交差点など）
	千円		千円	千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費

4 - 1 道路網の整備

(2)町道の整備

事業名		事業概要	
事業No.	337	庁内でも賑わい道路の在り方について協議し、緑園通りの整備について検討。整備を検討する。 道路形態で補助事業の活用ができれば、道路局所管補助事業を利用してコスト縮減のもと予算要望していく。	
賑わい道路等整備事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	中心市街地活性化基本計画の再検討	中心市街地活性化基本計画の再検討 賑わい道路整備計画策定	中心市街地整備構想との整合性、方向性の検討と事業手法の模索
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-1 道路網の整備

(3)国道、道道、町道等道路網の整備、促進

事業名		事業概要		
事業No.	338	国道整備改良要望 高規格道路、地域高規格道路、国道39・240・243・334号(事故危険区間含む)について要望		
道路改良改善事業		道道整備改良要望 北見端野美幌線改良、北見美幌線改良・町道第770号道道昇格要望		
		町道整備改良要望 事業の優先度を考慮し、道路局所管事業を道へ要望（町道第262号改良などを要望）		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	北海道横断自動車道・道東縦貫道路整備要望 国道39・240・243・334号道路整備要望 社会資本推進会議（道道要望） （北端美線・北見美幌線・第770号道路道道昇格） 道路局交付金事業要望 （町道第262号道路）		北海道横断自動車道・道東縦貫道路整備要望 国道39・240・243・334号道路整備要望 社会資本推進会議（道道要望） （北端美線・北見美幌線・第770号道路道道昇格） 道路局交付金事業要望 （町道第262号道路）	
	千円		千円	千円
	グループ名		建設水道部・建設グループ	3年間の事業費

事業名		事業概要		
事業No.	339	第262号道路・第252号道路・第280号道路・第505号道路・第509号道路・第112号道路について、現状道路の損傷がひどく、路盤圧が規定に足りず、凍上、舗装の経年劣化により全改良による整備が必要なことから、社会資本整備総合交付金事業により道路整備を推進する。		
第262号外道路改良事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	工事請負費（第262号）L=109m 補助分 33,500千円 単独分 4,000千円 NTT電柱移設補償 2,000千円 （社会資本交付金60％・過疎債100％）		工事請負費（第262号）L=110m 補助分 34,000千円 単独分 4,500千円 （社会資本交付金60％・過疎債100％）	工事請負費（第262号）L=110m 補助分 34,000千円 単独分 4,500千円 （社会資本交付金60％・過疎債100％）
	39,500 千円		38,500 千円	38,500 千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	116,500 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 住みやすく、人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

4-2 除排雪体制の充実

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
5	16	586,290	203,890	195,800	186,600

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
除雪延長距離(歩道含む)	H26	437km	437km	437km	437km

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)除雪体制の充実	209～211
(2)降雪による事故防止	212
(3)雪による交通安全対策	213
(4)除雪活動	214～215
(5)排雪活動	216

4-2 除排雪体制の充実

(1)除雪体制の充実

事業名		事業概要		
事業No.	340	市街地を11の地区に分け、直営、民間8業者で、郊外地区を5地区、歩道を8ブロックに分けて冬期間の除雪作業を行っている。（除雪延長は市街地区が113km、郊外地区が266km、計379km） また、路面凍結時の砂撒きや堆雪状況に応じた排雪作業を行っている。		
除雪対策事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	町内の除排雪作業に係る 直営人件費、除雪車両維持管理費 61,878千円 除排雪委託料 71,769千円		町内の除排雪作業に係る 直営人件費、除雪車両維持管理費 66,100千円 除排雪委託料 70,000千円	町内の除排雪作業に係る 直営人件費、除雪車両維持管理費 66,100千円 除排雪委託料 70,000千円
	133,647 千円		136,100 千円	136,100 千円
	グループ名 建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	405,847 千円

事業名		事業概要		
事業No.	341	農村部における冬期除雪は、現在、各地区1台のダンプと、一部の民間除雪組合により行っていますが、除雪組合がない地区は地区全路線の除雪に時間を要する事となり、児童、生徒の通学、集乳に影響することとなるため、除雪組合の再編、路線の見直し等、効果的な方法を検証し、検討する。		
農村部除雪協力体制強化事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	9地区借上料 2,410千円		10地区借上料 3,000千円	11地区借上料 3,500千円
	2,410 千円		3,000 千円	3,500 千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	8,910 千円

事業名		事業概要			
事業No.		342		冬期間の円滑な交通環境を確保するため、直営、民間委託等役割分担をし、除排雪作業を行っている。 そのため、直営による除排雪作業に必要な除雪車両の整備をし、除雪体制を維持する。	
除雪車両整備事業					
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度		平成33年度
	大型ロータリー2.6m級（防衛補助） 67,833千円（H15年車の入替） （防衛（75%）49,337千円、過疎債16,800千円） 歩道用小型ロータリー1.0m 2台（備荒資金）		除雪トラック購入（H6年車の入替）		除雪ショベル購入（補助）47,000千円 （H12年車の入替） （国(2/3)31,333千円・過疎債15,600千円）
	67,833 千円		56,700 千円		47,000 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費		171,533 千円

4-2 除排雪体制の充実

(1)除雪体制の充実

事業名		事業概要		
事業No.	343	冬期間の歩道を除雪する。		
冬道歩行者安全確保事業				
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	除雪方法、除雪体制の検討	除雪方法、除雪体制の検討	除雪方法、除雪体制の検討	
	千円	千円	千円	
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円	

事業名		事業概要	
事業No.	344	報徳に雪捨て場を開設し町内の雪の堆雪場所を確保し受入れする。	
雪捨て場環境整備事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	場内整備を継続して行い、排雪される雪の受け入れ終日体制を維持する。	場内整備を継続して行い、排雪される雪の受け入れ終日体制を維持する。	場内整備を継続して行い、排雪される雪の受け入れ終日体制を維持する。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費
			千円

事業名		事業概要	
事業No.	345	自治会単位で実施している「たすけあいチーム」等と連携して、除雪作業が困難な高齢者等世帯を対象として冬期間の除雪によって間口に積まれる雪対策をする。	
間口置き雪対策事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	対象者世帯の間口除雪状況、対象戸数増加に伴う作業時間の推移等の検証を行い、必要な専用除雪車両整備、操縦者育成を併せて行う。	対象者世帯の間口除雪状況、対象戸数増加に伴う作業時間の推移等の検証を行い、必要な専用除雪車両整備、操縦者育成を併せて行う。	対象者世帯の間口除雪状況、対象戸数増加に伴う作業時間の推移等の検証を行い、必要な専用除雪車両整備、操縦者育成を併せて行う。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費
			千円

4 - 2 除排雪体制の充実

(1)除雪体制の充実

事業名		事業概要	
事業No.	346	除雪作業の従事者を確保する。	
除雪作業従事者確保事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	定年や高齢の引退に伴う後継者育成、確保 除雪作業時期以前からの面接、雇用等、 除雪作業車の操縦者養成を検討	定年や高齢の引退に伴う後継者育成、確保 除雪作業時期以前からの面接、雇用等、 除雪作業車の操縦者養成を検討	定年や高齢の引退に伴う後継者育成、確保 除雪作業時期以前からの面接、雇用等、 除雪作業車の操縦者養成を検討
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-2 除排雪体制の充実

(2)降雪による事故防止

事業名		事業概要	
事業No.	347	除雪作業の障害となる路上駐車への注意喚起や路上放置車両の移動等により、迅速で安全な除雪作業を行う。	
除雪作業安全実施啓発事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	警察等機関や周辺自治会との協働による路上駐車車両への注意喚起、広報掲載等による啓発を継続して行っていく。	警察等機関や周辺自治会との協働による路上駐車車両への注意喚起、広報掲載等による啓発を継続して行っていく。	警察等機関や周辺自治会との協働による路上駐車車両への注意喚起、広報掲載等による啓発を継続して行っていく。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要	
事業No.	348	冬期間、自宅敷地内の雪を道路用地へ出すと車道や歩道が狭窄し、通行の支障の原因となるため、自宅敷地内の雪を道路用地へ出さないよう注意喚起を行う。	
雪出し対策事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	パトロール、自治会長等、自治会単位での依頼、広報等による周知、警察等と協働し注意喚起を実施していく。	パトロール、自治会長等、自治会単位での依頼、広報等による周知、警察等と協働し注意喚起を実施していく。	パトロール、自治会長等、自治会単位での依頼、広報等による周知、警察等と協働し注意喚起を実施していく。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-2 除排雪体制の充実

(3)雪による交通安全対策

事業名		事業概要	
事業No.	349	冬期間の暴風雪等による国道、道道、町道の「未除雪」や「除雪が不可能」等の状況について、関係機関と連携し情報の収集、提供を迅速に行い、運転者の安全確保に努める。	
除雪情報提供事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	通行止め及び案内掲示板をあらかじめ用意し、気象状況の変動に伴う国道、道道の状況確認と状況に適した場所への設置を行い、運転者の安全確保に努める。	通行止め及び案内掲示板をあらかじめ用意し、気象状況の変動に伴う国道、道道の状況確認と状況に適した場所への設置を行い、運転者の安全確保に努める。	通行止め及び案内掲示板をあらかじめ用意し、気象状況の変動に伴う国道、道道の状況確認と状況に適した場所への設置を行い、運転者の安全確保に努める。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		350		
低コスト融雪施設検討事業		冬期間の路面凍結による車両のスリップ事故を防止するため、滑り止め用の砂利を散布しているが、より、低コストな融雪施設の導入を検討する。		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	現状で有効と考えられる凍結路面への滑り止め用砂利散布作業を継続して実施することで、冬期間の自動車スリップ事故の減少に努める。		現状で有効と考えられる凍結路面への滑り止め用砂利散布作業を継続して実施することで、冬期間の自動車スリップ事故の減少に努める。	現状で有効と考えられる凍結路面への滑り止め用砂利散布作業を継続して実施することで、冬期間の自動車スリップ事故の減少に努める。
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-2 除排雪体制の充実

(4)除雪活動

事業名		事業概要	
事業No.	351	たすけあいチームによる除雪活動の継続支援を行う。	
家庭用除雪機貸与事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	たすけあいチーム、美幌町社会福祉協議会と連携を深め、除雪活動を継続支援する。	たすけあいチーム、美幌町社会福祉協議会と連携を深め、除雪活動を継続支援する。	たすけあいチーム、美幌町社会福祉協議会と連携を深め、除雪活動を継続支援する。
	千円	千円	千円
グループ名	民生部・保健福祉グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要	
事業No.	352	冬期間、スクールバス路線や集乳路線、一部の吹きだまりにより通行に支障がある路線等について、農村除雪部会による早期除雪を随時実施する。	
農村地区除雪体制確立事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	農村部除雪部会の結成、取組の支援を行う	農村部除雪部会の結成、取組の支援を行う	農村部除雪部会の結成、取組の支援を行う
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要	
事業No.	353	冬期間、緊急搬送等に備え、国道、道道と連携し、道路の状況を把握し、町内では暴風雪時に緊急車両の通行に支障をきたさぬよう、緊急車両の先導除雪、急病者周辺の除雪が随時行う。	
緊急除雪体制確立連携事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	関係機関との連携強化 道路状況等の情報収集及び情報提供 状況に応じて除雪車両・オペレーターの待機 関係機関連絡網の整備	関係機関との連携強化 道路状況等の情報収集及び情報提供 状況に応じて除雪車両・オペレーターの待機 関係機関連絡網の整備	関係機関との連携強化 道路状況等の情報収集及び情報提供 状況に応じて除雪車両・オペレーターの待機 関係機関連絡網の整備
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

4 - 2 除排雪体制の充実

(4)除雪活動

事業名		事業概要	
事業No.	354	暴風雪等により国道、道道が通行止めとなった場合に、連絡する町道にて「通行止情報」や「道路状況」を標識や掲示板等で発信し、運転者の安全確保に努める。	
除雪啓蒙活動事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	国道、道道を所管する部署への状況の確認 「バリケード」「通行止」等の表示板の設置	国道、道道を所管する部署への状況の確認 「バリケード」「通行止」等の表示板の設置	国道、道道を所管する部署への状況の確認 「バリケード」「通行止」等の表示板の設置
	千円	千円	千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	千円	千円	千円	
グループ名		3年間の事業費		千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	千円	千円	千円	
グループ名		3年間の事業費		千円

4 - 2 除排雪体制の充実

(5)排雪活動

事業名		事業概要	
事業No.	355	交差点に堆積した雪により見通しが効かなくなるため、危険箇所の状況を随時確認し、必要に応じ排雪等を行い、安全確保する。	
排雪対策強化事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	路線パトロール体制の確立 危険箇所の早急な排雪	路線パトロール体制の確立 民地からの雪出しによる著しく交通の支障となる場所の把握及び確認 危険箇所の早急な排雪	路線パトロール体制の確立 危険箇所の早急な排雪
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり

4-3 治山・治水対策の推進

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
3	10	56,218	28,682	13,768	13,768

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
河川改修延長	H26	129km	129km	130km	131km

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)治水対策の推進	218
(2)河川整備	219～220
(3)治山対策の推進	221

4 - 3 治山・治水対策の推進

(1)治水対策の推進

事業名		事業概要	
事業No.	356	河川を管理する国、道との連携を強化して、堤内排水作業の速やかな初動体制の確立を図り、内水による被害の実態を踏まえて、排水路や排水の作業に必要な河川設備の整備を国、道に継続して要望する。	
治水対策連携強化事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	河川管理を行う国、道に対して、暴風雨時等内水による被害の状況を説明し、河川に接続する排水路や排水の作業に必要な河川設備の整備の充実を継続して要望していく。	河川管理を行う国、道に対して、暴風雨時等内水による被害の状況を説明し、河川に接続する排水路や排水の作業に必要な河川設備の整備の充実を継続して要望していく。	河川管理を行う国、道に対して、暴風雨時等内水による被害の状況を説明し、河川に接続する排水路や排水の作業に必要な河川設備の整備の充実を継続して要望していく。
	千円	千円	千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費

事業名		事業概要	
事業No.	357	大雨などによる河川の増水により住宅等へ浸水被害が及ばないように、各樋門に排水ポンプ及び発電機を設置し監視体制の整備を図る。	
堤内排水対策事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	瀬尾樋門ポンプ設置 1台		
	751 千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	751 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-3 治山・治水対策の推進

(2)河川整備

事業名		事業概要		
事業No.	358	住民のニーズを踏まえた河川敷地の安全な活用を推進する。		
網走川河川整備推進事業				
年度別 事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	緑地として管理する		緑地として管理する	緑地として管理する
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.	359	河川の氾濫被害の軽減を図り、沿線住民が安心して暮らせる環境作りを行うため、樋管管理、河川や排水路の維持管理、河川浚渫を実施する。		
河川補修事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	河川浚渫 3,400千円 土砂運搬 9,110千円 高野沢川河川・道路法面洗堀修繕 12,500千円		河川浚渫 3,400千円 土砂運搬 9,110千円	河川浚渫 3,400千円 土砂運搬 9,110千円
	25,010 千円		12,510 千円	12,510 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	50,030 千円

事業名		事業概要		
事業No.	360	福豊川で平成10年から平成14年の魚道整備完了地区の上流にある道営事業により整備された落差工9カ所について、生息魚類の河川の遡上降下に支障をきたしており、地元関係者より魚道整備の要望がされていることから、魚道を整備し河川の生態系の保全及び水産資源の保護を図る。 農山漁村地域整備交付金（地域用水環境整備事業） 魚道整備：9カ所（道営福梅地区畑総事業による第2号明渠排水の落差工）		
福豊上流第2地区道営土地改良事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	実施設計 事業費 〇 (総事業費 60,000千円 国及び道が全額負担)		魚道整備 5カ所 事業費 〇 (総事業費 60,000千円 国及び道が全額負担)	魚道整備 4カ所 事業費 〇 (総事業費 60,000千円 国及び道が全額負担)
	千円		千円	千円
グループ名	経済部・耕地林務グループ		3年間の事業費	千円

4－3 治山・治水対策の推進

(2)河川整備

事業名		事業概要	
事業No.	361	国・道とともに河畔林の維持や河川緑地の増進を図る緑化等、良好な河川環境の整備に努める。 また、地域・住民の参加協力により、魚道の設置、河川の一斉清掃、各種ワークショップなどを行い、河川美化やゴミ投棄防止などへの意識の啓蒙を図り、地域と一体となった河川環境保全を推進する。	
河川環境保全連携強化事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	河川環境保全に係る維持管理を地区住民主導で実施するため、地区住民との協議を継続して行う。	河川環境保全に係る維持管理を地区住民主導で実施するため、地区住民との協議を継続して行う。	河川環境保全に係る維持管理を地区住民主導で実施するため、地区住民との協議を継続して行う。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		362		洪水等による災害発生の防止、機能維持、環境整備と保全を河川管理者である国、道に要望を行う。
河川整備推進事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	近隣河川の状況、状態を把握し、河川管理者の国、道に対して河川災害の防止対策、河川環境整備に必要な要望を継続して行う。		近隣河川の状況、状態を把握し、河川管理者の国、道に対して河川災害の防止対策、河川環境整備に必要な要望を継続して行う。	近隣河川の状況、状態を把握し、河川管理者の国、道に対して河川災害の防止対策、河川環境整備に必要な要望を継続して行う。
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-3 治山・治水対策の推進

(3) 治山対策の推進

事業名		事業概要	
事業No.	363	災害発生に伴う山腹の復旧及び砂防ダム等を設置する。	
治山・砂防事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	危険箇所の把握 土地所有者に対する啓蒙	危険箇所の把握 土地所有者に対する啓蒙	危険箇所の把握 土地所有者に対する啓蒙
	千円	千円	千円
グループ名	経済部・耕地林務グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.	364	山地災害防止のための状況調査、各種治山施設及び既存林道の維持補修を行う。		
治山林道施設整備推進事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	治山施設及び既存林道の状況調査・点検・補修		治山施設及び既存林道の状況調査・点検・補修	治山施設及び既存林道の状況調査・点検・補修
	2,921千円		1,258千円	1,258千円
グループ名	経済部・耕地林務グループ		3年間の事業費	5,437千円

事業名		事業概要		
事業No. 365		地滑りや土砂流出等、町内の危険箇所や林地開発による崩落危険箇所等の調査を行い、結果に基づき土地所有者に対し指導を行う。		
危険箇所指導啓発事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	崩落危険箇所調査・把握 土地所有者への指導		崩落危険箇所調査・把握 土地所有者への指導	崩落危険箇所調査・把握 土地所有者への指導
	千円		千円	千円
グループ名	経済部・耕地林務グループ		3年間の事業費	千円

4 住みやすく、人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
6	8	17,706	3,841	12,640	1,225

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
ユニバーサルデザインによる 誘導看板設置件数	H26	0件	0件	9件	9件

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)計画的な土地利用の推進	223
(2)適正な土地利用の確保	224
(3)市街地における土地利用の推進	225
(4)市街地の再整備	226
(5)市街地の保全	227
(6)誰もが利用しやすい施設・設備づくり	228

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

(1) 計画的な土地利用の推進

事業名		事業概要		
事業No.	366	地籍調査補完事業 国土調査終了後の地籍の誤りの訂正分及び分合筆等を地籍図数値情報化（電算処理化）する。		
地籍調査事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	地籍調査補完事業（地籍図修正及び更正業務委託）		地籍調査補完事業（地籍図修正及び更正業務委託）	地籍調査補完事業（地籍図修正及び更正業務委託）
	1,729 千円		880 千円	880 千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	3,489 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

(2)適正な土地利用の確保

事業名		事業概要		
事業No.	367	土地利用規制対策事業 土地利用計画計画法に基づき土地売買時の事前届出を随時受け付ける。 同制度の周知を図り、無届、遅滞を防止することで、計画的な土地利用の推進を図る。		
土地利用規制対策事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	土地利用規制等対策事業 (国土法届出実績により道支出金の変動し通知される)		土地利用規制等対策事業 (国土法届出実績により道支出金の変動し通知される)	土地利用規制等対策事業 (国土法届出実績により道支出金の変動し通知される)
	87 千円		87 千円	87 千円
	グループ名	総務部・財務グループ	3年間の事業費	261 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

(3)市街地における土地利用の推進

事業名		事業概要	
事業No.	368	都市計画審議会に関する事務 都市計画決定・変更に関する事務 開発行為許可等に関する事務	
都市計画事務			
年度別 事業 内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	都市計画事務	都市計画事務	都市計画事務
	258 千円	258 千円	258 千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費

事業名		事業概要		
事業No.		369		
用途地域変更事業		都市公園の緑化（街路樹）の在り方、網走川河畔公園・なかまち緑道公園等の緑地、都市計画区域内の緑地に関する「緑の基本計画」を策定し公園・緑地の在り方を再考する。		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別 事業 内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

(4)市街地の再整備

事業名		事業概要	
事業No.	370	人口減少や市街地空洞化の観点から、庁内会議で各種の検討を行い、地域の特色を活かした市街地再整備の可能性の検討を図る。	
市街地再開発可能性調査検討事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	庁内検討会議の実施	庁内検討会議の実施	
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

(5)市街地の保全

事業名		事業概要	
事業No.	371	環境保全のため街路樹の落ち葉やビリ砂利の清掃、街路樹の剪定等、地域の団体やボランティアなどのマンパワーの最大限活かしまちなみ環境保全に努める。	
まちなみ環境保全事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	地域団体・ボランティア・個人の奉仕活動の推進	地域団体・ボランティア・個人の奉仕活動の推進	地域団体・ボランティア・個人の奉仕活動の推進
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-4 住みやすく美しい市街地機能の向上

(6)誰もが利用しやすい施設・設備づくり

事業名		事業概要	
事業No.	372	施設の更新・新設時にユニバーサルデザインの導入を行う。	
ユニバーサルデザイン導入事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	施設更新・新設時にユニバーサルデザインの導入	施設更新・新設時にユニバーサルデザインの導入	施設更新・新設時にユニバーサルデザインの導入
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建築グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.	373	公共施設がわかりづらいなどの指摘があることから、公共施設を連絡する路線などに誰にでもわかりやすい誘導看板等の設置を町道に行い、ユニバーサルデザインを推進する。		
ユニバーサルデザイン推進事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	誘導看板修正		誘導看板設置、修正	誘導看板設置、修正
	1,767 千円		11,415 千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	13,182 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 住みやすく、人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

4-5 公園、緑地の整備

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
1	3	74,263	41,763	21,200	11,300

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
都市公園面積	H26	93.45ha	94ha	94ha	94ha

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)公園や緑地の整備、維持管理	230

4-5 公園、緑地の整備

(1)公園や緑地の整備、維持管理

事業名		事業概要		
事業No.	374	各施設の改修、修繕、遊具の点検等を行い、施設の安全を図り魅力的な公園作りをし、快適に利用してもらう。 また、公園長寿命化計画に基づき、公園遊具等の長寿命化を図る。		
公園整備事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	みとみ公園 公園長寿命化遊具整備 19,100千円 みとみ公園擁壁更新実施設計委託 3,700千円 公園遊具定期点検業務委託（劣化点検） 700千円 公園樹木剪定業務委託（せせらぎ、しら かば、なかまち緑道） 1,600千円 公園施設修繕 5,600千円 せせらぎ公園木製階段補修工事 9,900千円		しんまち公園遊具更新 5,000千円 公園大規模修繕 5,600千円 せせらぎ公園木製階段補修工事 9,900千円 公園遊具定期点検業務委託（劣化点検） 700千円	あおやま公園遊具更新 5,000千円 公園大規模修繕 5,600千円 公園遊具定期点検業務委託（劣化点検） 700千円
	41,763 千円		21,200 千円	11,300 千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費

事業名		事業概要		
事業No.	375	地域住民のニーズにあった多目的な有効利用法の検討を行う。		
公園引当地活用促進事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	地域の要望に沿った有効利用を推進する。		地域の要望に沿った有効利用を推進する。	地域の要望に沿った有効利用を推進する。
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		376		
公園美化活動推進事業		周辺自治会やボランティアによる住民参加型美化活動を推進する。		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	自治会やボランティア団体等の活動をサポートする。		自治会やボランティア団体等の活動をサポートする。	自治会やボランティア団体等の活動をサポートする。
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	千円

4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり

4-6 住宅環境の整備

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
3	5	49,320	47,900	710	710

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
公営住宅の長寿命化率	H27	18.8% 420戸(480戸)	20.0%	20.0%	27.6%
北海道空き家情報バンク への登録件数	H30	1件	－	5件	9件
管理不全な空家等の 解消実績数	H30	－	－	20件	40件

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)公営住宅の整備	232
(2)民間住宅・宅地整備の推進	233
(3)空き家対策	234

4 - 6 住宅環境の整備

(1)公営住宅の整備

事業名		事業概要		
事業No.	377	住生活基本計画・公営住宅長寿命化計画に沿って、住宅需要を反映した良質な住宅ストック確保と調和を図る。		
住宅施策計画推進事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建築グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.		378		
公営住宅整備事業		公営住宅を適正に管理し、住環境及び利便性の向上を図るため、公営住宅を整備する。 今後の社会情勢の変化や国、道の住宅施策の動向及び事業内容等により必要に応じて適宜見直し整備する。		
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建築グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4-6 住宅環境の整備

(2)民間住宅・宅地整備の推進

事業名		事業概要		
事業No.	379	住環境の整備と地域経済の活性化を目的に、住宅のリフォーム工事にに対し補助金を交付。 50万円以上の工事に対し20%（補助金の上限は50万円） 平成23年度から実施している事業で、平成30年度までの8力年で1,065件、実績工事費 2,563,992千円、348,129千円の補助金を交付。		
住宅リフォーム促進補助事業				
年度別 事業 内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	住宅リフォーム補助 363千円×130件			
	47,190 千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・建築グループ		3年間の事業費	47,190 千円

事業名		事業概要		
事業No.	380	耐震化を促進し、安全な住環境を確保する。		
住宅耐震改修補助事業				
年度別 事業 内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	住宅耐震改修補助 300千円×1件		住宅耐震改修補助 300千円×1件	住宅耐震改修補助 300千円×1件
	300 千円		300 千円	300 千円
グループ名	建設水道部・建築グループ		3年間の事業費	900 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別 事業 内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 - 6 住宅環境の整備

(3)空き家対策

事業名		事業概要	
事業No.	381	平成30年度に策定した「空家等対策計画」により、総合的かつ計画的な空家等対策を推進する。	
空き家対策事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	空家等対策計画に基づく「空家等対策」の実施 空家等対策協議会の開催 空家対策に関する周知・啓発（北海道作成版を利用） 美幌町空き家バンク創設の検討	空家等対策計画に基づく「空家等対策」の実施 空家等対策協議会の開催 空家対策に関する周知・啓発（北海道作成版を利用） 美幌町空き家バンク創設の検討	空家等対策計画に基づく「空家等対策」の実施 空家等対策協議会の開催 空家対策に関する周知・啓発
	410千円	410千円	410千円
グループ名	総務部・まちづくりグループ	3年間の事業費	1,230千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 住みやすく、人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

4-7 上下水道の整備

施策数	事業数	事業費合計（千円） （H31～H33）	事業費合計（千円） （H31）	事業費合計（千円） （H32）	事業費合計（千円） （H33）
7	14	3,502,512	758,762	1,355,271	1,388,479

【指標】

指 標 名	計画策定時		前期実績(H30)	中期（H34）	後期（H38）
水道有収率	H26末	92.2%	85.3%	93%	93%
生活排水施設の普及率 （下水道、個別排水処理施設）	H26	97.2%	96.9%	98.2%	99.5%

【施策】

施 策 名 称	掲載ページ
(1)水資源の確保	236
(2)水道の整備	237～238
(3)水道事業の推進	239
(4)下水道事業の継続性の確保	240
(5)下水道事業の推進	241
(6)合併処理浄化槽の設置促進と維持管理	242
(7)汚泥処理の推進	243

4 - 7 上下水道の整備

(1)水資源の確保

事業名		事業概要		
事業No.		382		安定した取水を確保できるよう週1回の流量測定を行う。
河川流量調査事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	河川流量の測定		河川流量の測定	河川流量の測定
	千円		千円	千円
グループ名	建設水道部・水道グループ		3年間の事業費	千円

事業名		事業概要	
事業No.	383	本町の水源は、藻琴山の麓に位置し日並牧場内を經由して管理していますが、水源池は無人であることから、危機管理対策として部外者の侵入を監視するシステムの導入を検討する。	
水源池管理対策事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	水源池監視システム設置の検討	水源池監視システム設置の検討	水源池監視システム設置の検討
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・水道グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要	
事業No.	384	水源涵養林の機能確保のため、関係機関との情報共有及び協議を行う。	
水源涵養林維持管理事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	国有林・町有林の施業計画に基づく維持管理	国有林・町有林の施業計画に基づく維持管理	国有林・町有林の施業計画に基づく維持管理
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・水道グループ	3年間の事業費	千円

4 - 7 上下水道の整備

(2)水道の整備

事業名		事業概要		
事業No.	385	水道施設の故障は水処理及び給水に多大な影響を与えるため、定期点検や維持管理で施設機能の延命を図りながら耐用年数を考慮し計画的に施設更新を進め安定給水を継続する。また、地震等災害が発生した場合でも、生命の維持や生活に必要な水を安定的に供給するため施設の耐震化を図る。		
水道施設整備事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	浄水場天日乾燥施設更新(1池)、浄水場ブロック形成池機械設備、桜沢加圧P遠隔監視用通信装置、瑞治流量計室減圧弁・圧力計 水道施設等耐震化事業 補強及び付帯工事 (補助率1/4、公営企業債、一般会計出資債) 田中配水池整備基本設計委託		浄水場ろ過設備及びろ過水濁度計(1池)、浄水場天日乾燥施設更新(1池)、浄水場高圧気柱開閉器・継電器、田中加圧P残留塩素計、高区第1加圧P残留塩素計、昭野加圧P配水流量計、桜沢加圧P残留塩素計、稲美流量計遠隔監視用通信装置 水道施設等耐震化事業 補強実施設計及び補強工事 (補助率1/4、公営企業債、一般会計出資債)	浄水場ろ過設備及びろ過水濁度計(1池)、浄水場配水池水位計、田中加圧P圧力調節計、高区第1加圧P配水流量計、桜沢加圧P配水流量計、瑞治流量計遠隔監視用通信装置 水道施設等耐震化事業 補強実施設計及び補強工事 (補助率1/4、公営企業債、一般会計出資債) 田中配水池実施設計(公営企業債)
	102,760 千円		294,672 千円	226,274 千円
	グループ名 建設水道部・水道グループ		3年間の事業費	623,706 千円

事業名		事業概要		
事業No.	386	老朽管の計画的な布設替と道路事業に併せた管網整備を実施する。また、基幹管路については地震等災害時においても給水が継続できるよう耐震化を図っていく。		
水道管路整備事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	配水管新設工事 5,000千円 L=110m 配水管布設替工事 117,730千円 L=1,553.6m 基幹管路更新実施設計 補助率1/3 49,000千円 (補助率1/3、公営企業債 17,000千円、一般会計出資債 17,000千円)		配水管新設工事 34,500千円 L=510m 配水管布設替工事 91,000千円 L=1,085m 基幹管路更新工事 補助率1/3 363,120千円 (補助率1/3、公営企業債 262,600千円、一般会計出資債 60,500千円)	配水管布設替工事 144,130千円 L=1,980m 基幹管路更新工事（単独分） 47,950千円 基幹管路更新工事 補助率1/3 363,120千円 (補助率1/3、公営企業債 181,500千円、一般会計出資債 60,500千円)
	171,730 千円		488,620 千円	555,200 千円
グループ名	建設水道部・水道グループ		3年間の事業費	1,215,550 千円

事業名		事業概要	
事業No.	387	町民に対して水道週間やイベント、広報、ホームページを利用して安全安心を訴え水道利用の促進を図る。	
水道利用普及啓蒙事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	広報、ホームページ等を利用したPR 水道週間でのPR イベントでの水道事業普及宣伝	広報、ホームページ等を利用したPR 水道週間でのPR イベントでの水道事業普及宣伝	広報、ホームページ等を利用したPR 水道週間でのPR イベントでの水道事業普及宣伝
	70千円	70千円	70千円
グループ名	建設水道部・水道グループ	3年間の事業費	210千円

4 - 7 上下水道の整備

(2)水道の整備

事業名		事業概要	
事業No.	388	地下水の水質が悪化しているなど地域からの相談・要望や実情及び公営企業としての経営状況など総合的な判断に基づき水道未普及地域の対策について検討を行う。	
水道未普及地域対策事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	水道未普及地域からの相談・要望に対する検討	水道未普及地域からの相談・要望に対する検討	水道未普及地域からの相談・要望に対する検討
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・水道グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 - 7 上下水道の整備

(3)水道事業の推進

事業名		事業概要		
事業No.	389	既設の量水器収納筐（角型・丸型・筒型）を計量法により定められている8年毎の量水器（水道メーター）交換に併せて伸縮式収納筐に交換する。		
量水器収納筐設置事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	伸縮筐設置委託料 Φ13 133箇所×64,570円 Φ20 1箇所×71,610円 計 8,660千円		伸縮筐設置委託料 Φ13 240箇所×64,570円 計 15,497千円	伸縮筐設置委託料 Φ13 391箇所×64,570円 Φ20 1箇所×71,610円 計 25,319千円
	伸縮筐購入費 Φ13 133台 ×37,570円 Φ20 1台 ×48,449円 計 5,045千円		伸縮筐購入費 Φ13 240台 ×37,570円 計 9,017千円	伸縮筐購入費 Φ13 391台 ×37,570円 Φ20 1台 ×48,449円 計 14,739千円
	13,705 千円		24,514 千円	40,058 千円
グループ名	建設水道部・水道グループ		3年間の事業費	78,277 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 - 7 上下水道の整備

(4) 下水道事業の継続性の確保

事業名		事業概要		
事業No.	390	昭和48年に下水道事業に着手し、下水道の整備拡充に努めてきた結果、水洗化率は平成29年度末で96.1%となっている。また、市街地周辺の集落等の環境整備を図るため、平成8年度から特定環境保全公共下水道事業に着手し、ほぼ整備を終えている。今後も更なる普及率の向上を図るため、汚水樹設置を実施する。また、処理場及び管渠の更新に係る計画を策定し、適切な更新工事を実施する。		
公共下水道建設事業				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	処理場非常用発電設備更新工事 管渠更新工事 処理場非常用発電設備更新工事監理 処理場受変電設備実施設計 ストックマネジメント計画策定（管渠） 管渠資材価格調査 配水管布設替工事補償費 公共汚水樹設置		処理場非常用発電設備更新工事 管渠更新工事 処理場非常用発電設備更新工事監理 ストックマネジメント計画策定（管渠） 電気設備資材価格調査 管渠資材価格調査 公共汚水樹設置	処理場受変電設備更新工事 管渠更新工事 処理場受変電設備更新工事監理 管渠更新実施設計 事業計画変更 電気設備資材価格調査 管渠資材価格調査 公共汚水樹設置
	174,865 千円		239,200 千円	257,600 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	671,665 千円

事業名		事業概要		
事業No.	391	管きよの適正な管理により、道路陥没事故を未然に防止する。また、下水道の機能を適正に維持するために、持続的で安定した水質処理を継続した運転管理を行い、適正な処理による公共水域の水質保全を図る。		
公共下水道維持管理事業				
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	運転維持管理費 154,356千円 機器修繕 36,919千円 下水汚泥・放流水中の微量成分の分析 1,300千円 産業廃棄物処理委託費 13,585千円 管路施設等修繕 9,994千円 雨水マンホール取替 5,112千円 管渠清掃 5,610千円	運転維持管理費 163,860千円 機器修繕 37,000千円 下水汚泥・放流水中の微量成分の分析 1,326千円 産業廃棄物処理委託費 13,574千円 管路施設等修繕 10,000千円 雨水マンホール取替 6,000千円 管渠清掃 5,600千円	運転維持管理費 163,860千円 機器修繕 37,000千円 下水汚泥・放流水中の微量成分の分析 1,326千円 産業廃棄物処理委託費 13,574千円 管路施設等修繕 10,000千円 雨水マンホール取替 6,000千円 管渠清掃 5,600千円	
	226,876 千円	237,360 千円	237,360 千円	
	グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	701,596 千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 - 7 上下水道の整備

(5)下水道事業の推進

事業名		事業概要	
事業No.	392	人口減少等による料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大など厳しさを増す経営環境を踏まえ、計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等を的確に行うため、公営企業会計の適用を検討する。また、設備機器の更新に合わせて省エネ機器に変更していく。	
下水道経営健全化事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	公営企業会計への移行を検討する。	公営企業会計への移行を検討する。	公営企業会計への移行を検討する。
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 - 7 上下水道の整備

(6)合併処理浄化槽の設置促進と維持管理

事業名		事業概要	
事業No.	393	農村地区（下水道区域対象外）の水洗化を図るために合併浄化槽（個別排水処理施設）の設置を行う	
個別排水処理施設建設事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	個別排水処理施設整備 10基 36,674千円 下水道債 22,800千円 辺地債 6,100千円 過疎債 6,100千円 受益者分担金 1,621千円	個別排水処理施設整備 10基 36,674千円 下水道債 22,800千円 辺地債 6,100千円 過疎債 6,100千円 受益者分担金 1,621千円	個別排水処理施設整備 10基 36,674千円 下水道債 22,800千円 辺地債 6,100千円 過疎債 6,100千円 受益者分担金 1,621千円
	36,674 千円	36,674 千円	36,674 千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	110,022 千円

事業名		事業概要			
事業No.		394			
個別排水処理施設維持管理事業		個別排水処理施設に係る点検、修繕等維持管理経費			
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度		平成33年度
	個別排水処理施設維持管理 32,082千円 修繕料 6,213千円 手数料 4,672千円 委託料 21,197千円		個別排水処理施設維持管理 34,161千円 修繕料 5,961千円 手数料 5,163千円 委託料 23,037千円		個別排水処理施設維持管理 35,243千円 修繕料 6,146千円 手数料 5,317千円 委託料 23,780千円
	32,082 千円		34,161 千円		35,243 千円
	グループ名	建設水道部・建設グループ		3年間の事業費	

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度		平成32年度	平成33年度
	千円		千円	千円
グループ名			3年間の事業費	千円

4 - 7 上下水道の整備

(7)汚泥処理の推進

事業名		事業概要	
事業No.	395	平成27年5月の改正下水道法において、下水汚泥が肥料として再生利用されるよう努めなければならないとされたことにより、発生汚泥の再生利用を推進するため研究する。また、下水汚泥は大気中の二酸化炭素を増やさないカーボンニュートラルな再生可能エネルギーで、このエネルギー利用は温暖化対策にも有効であるので利用について研究を進める。	
下水道汚泥資源有効利用推進事業			
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	利用に向けた研究の検討	利用に向けた研究の検討	利用に向けた研究の検討
	千円	千円	千円
グループ名	建設水道部・建設グループ	3年間の事業費	千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	千円	千円	千円	
グループ名		3年間の事業費		千円

事業名		事業概要		
事業No.				
年度別事業内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	千円	千円	千円	
グループ名		3年間の事業費		千円